

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-A-04-0009_改0
提出年月日	2021年6月15日

工事計画に係る説明資料

原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備

(3.5.3 耐圧強化ベント系)

(本文)

2021年6月

東北電力株式会社

申請範囲

- 3. 原子炉冷却系統施設
 - 3.5 残留熱除去設備
 - 3.5.3 耐圧強化ベント系
 - (8) 主配管（常設）

3.5.3 耐圧強化ベント系
(8) 主配管 (常設)

O2 ① II RO

変更前						変更後										
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力*3 (kPa)	最高使用 温度*3 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料					
耐圧強化ベント系						原子炉格納容器調気系	*4 原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。								
							*5 原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ～ ドライウエル出口配管分岐点	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。								
							*4 原子炉格納容器配管貫通部 (X-81)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。								
							*5 原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ～ ドライウエル出口配管分岐点	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。								
											耐圧強化ベント系	*6 サブプレッションチェンバ出口配管分岐点2 ～ T48-F044		609.6	□ (9.5)	SM400C
														457.2		
														457.2	(14.3)	STS410
														318.5	(10.3)	
														318.5	(10.3)	STS410
														*7	*7	*7
					耐圧強化ベント系	*6 T48-F044 ～ 非常用ガス処理系フィルタ装置出口配管合流点		318.5	(10.3)	STS410						
								*7	*7	*7						

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (kPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力*3 (kPa)	最高使用 温 度*3 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
耐 圧 強 化 ベ ン ト 系		—				耐 圧 強 化 ベ ン ト 系 非 常 用 ガ ス 処 理 系 *8 非常用ガス処理系フィルタ装置出口配管合流点 ～ 排気筒					7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並び に格納容器再循環設備 a. 非常用ガス処理系 ル 主配管（常設） に記載する。

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

*3 : 重大事故等時の使用時の値。

*4 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器（配管貫通部）であり、残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。

*5 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気設備（原子炉格納容器調気系）であり、残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。

*6 : 本設備は既存の設備である。

*7 : エルボを示す。

*8 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）であり、残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。